

ぼうさいこくたい2023

「防災ライト層」を動かし、 レジリエントな社会づくりを

～自社研究結果をもとに～

MRI 三菱総合研究所

2023年9月18日

政策・経済センター

主任研究員 山口健太郎

三菱総研グループとは

- 総合シンクタンクグループ
- 経済・ITから科学技術まで
- 社会課題解決を目指す



MRI 三菱総合研究所

- 1970年創業
- 三菱創業100周年記念事業
- 三菱グループ27社が出資
- 事業持株会社、2009年上場

DCS 三菱総研DCS株式会社
Mitsubishi Research Institute DCS Co.,Ltd.

- 2005年にグループ会社化
- 三菱銀行(当時)のシステム子会社

+

JBS 日本ビジネスシステムズ株式会社

アイネス
「安心」と「革新」を創造するIT企業

出所:三菱総合研究所

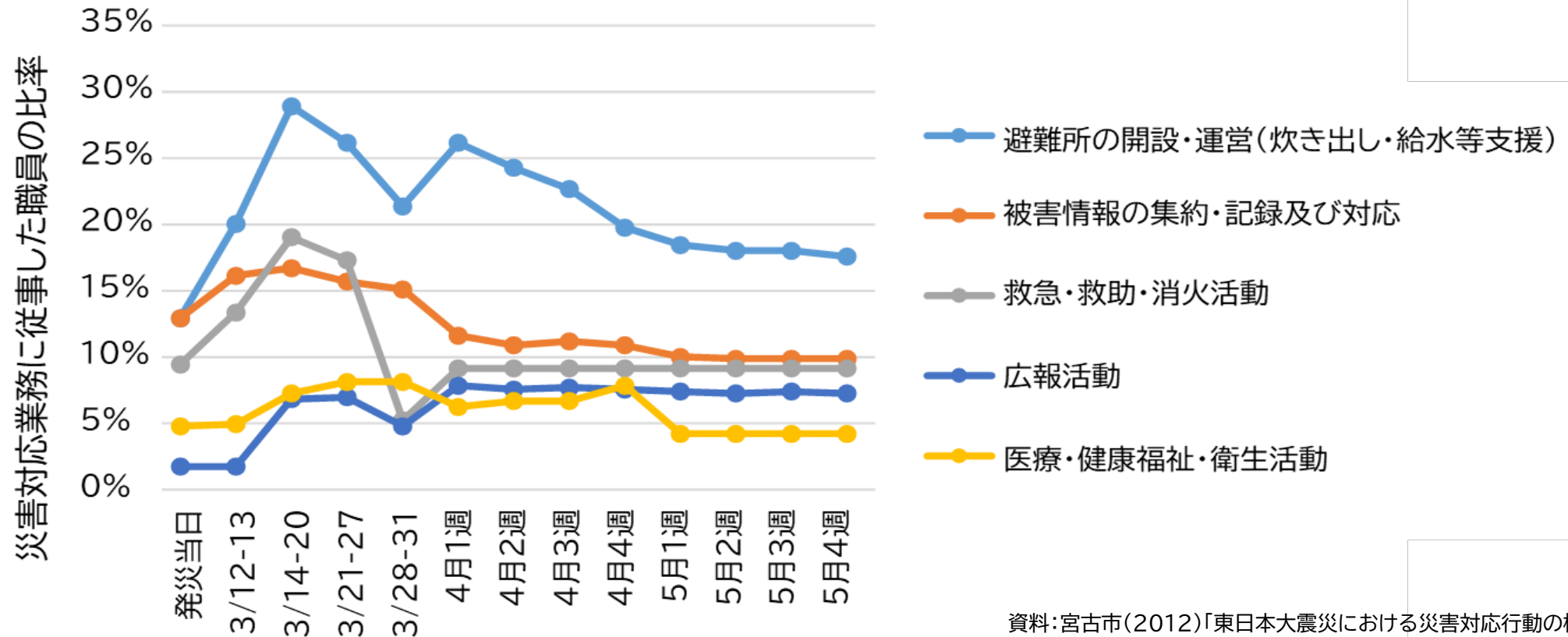
個人の行動を起点として 全体で助け合う「レジリエントな社会」

今後の都市型災害に向けて重視すべき点

- ハード面の防災対策・技術が進展している一方、モノの集積、少子高齢化を背景に、発災後の市民生活・福祉・経済の各活動が停滞するおそれ
- 災害時の公助対応は逼迫する可能性が高い
- 個人の日常・自発的な行動は公助負担の軽減につながる

災害時の公助対応は逼迫する可能性が高い

- 東日本大震災発生時の岩手県宮古市役所では日々約15～30%の職員が避難所関連業務に従事



個人の行動は公助負担の軽減につながる

● 首都直下地震を例にした試算

避難理由	在宅避難	避難所避難	避難所外避難
全壊・焼失による	0人	約65万人	約32万人
半壊による	約52万人	約35万人	約17万人
断水による(住居被害なし)	約174万人	約96万人	約47万人
6階以上居住+エレベータ停止による(住居被害なし・断水なし)	約64万人	約5万人	約3万人
合計	約290万人	約201万人※	約99万人※

約101万人分の飲食料費、避難所光熱費等 = 約17億円/ピーク時の1日、約290億円/発災後1ヵ月

※独自に推計をしているため、東京都防災会議(2022)の想定値と微小なずれがある。
出所:東京都(2022)「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」を基に三菱総合研究所推計

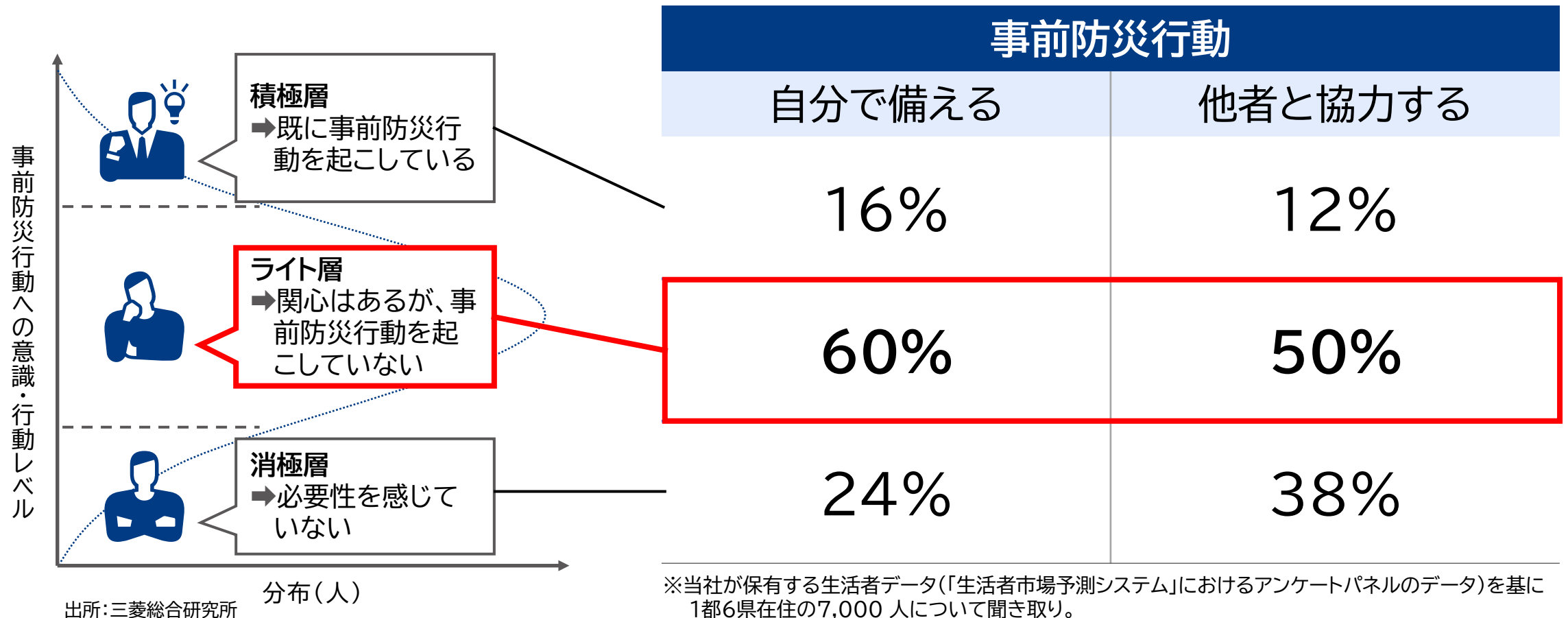
個人の日常行動分析から見えてくる 新しい防災アプローチ

「パーソナル・レジリエンス・プロフィール」とは

- 多数派「ライト層」市民の行動変容が社会を大きく変える
- 「ライト層」市民の行動変容を誘引するには、個人の日常生活の深い理解を可能にする「パーソナル・レジリエンス・プロフィール」が有効

社会を変えるのは「ライト層」の行動変容

- “あと一押し”で自発的に事前の防災行動を起こすようになる「ライト層」は生活者の5～6割と推測



パーソナル・レジリエンス・プロフィール(PRPR)

- 個人の日常を分析する174項目のデータ
- 従来の防災で重視されなかった“日常的関心・行動”にも着目

分類		PRPが備えるデータ(抜粋)	数
基本属性		年齢、性別、職業、家族類型、健康状態、ペットの有無、等	29
困難に立ち向かう能力	対処	居住地愛着、親との距離、友人の数、専門家の知人、等	55
	適応	助けを求めやすい雰囲気、サードプレイス有無、等	8
	変化の意志	将来の希望、日常生活に大きな支障をきたした経験、等	11
日常的な関心・行動	ライフステージ	父年齢、母年齢、子供年齢、婚姻状態	13
	ライフコース	男性50代以下、60代男女、専業主婦、ワーキングシングル、等	10
	生活時間	通勤・通学、仕事、勉強、新聞、テレビ、インターネット、等	12
	ライフスタイル	自分磨き、健康、コスパ重視、金融、家族で行動、SNS利用、等	14
	趣味	観光、キャンプ、芸能、アート、読書、ギャンブル、有酸素運動、等	15
実際の関心・行動		移住意向、経験した勤務形態、シェアリングサービス利用、等	7

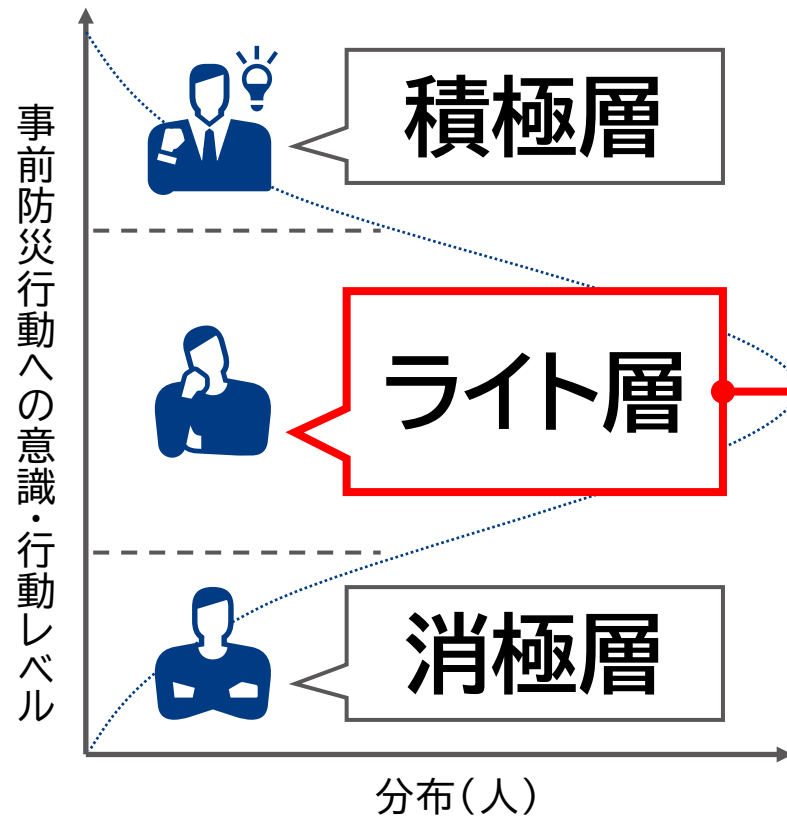
出所:三菱総合研究所

合計

174

PRPが明らかにする「ライト層」の日常

※自律型事前防災行動の分析例



ライト層の日常(ライフステージ、ライフスタイル、生活時間、趣味等)

20%

新常態適応者

- ・テレワーク、シェアリングサービス好む

11%

仕事も趣味も活発

- ・多趣味、友人が多い
- ・金融行動も活発

16%

家事・食事などに時間かけない

- ・家事・食に関心薄い
- ・子離れ傾向

19%

**消費活発
+介護予備軍**

- ・親の年齢高め
- ・飲食、買物、旅行

13%

女性・堅実生活

- ・コスパ、食・健康を重視、ヨガ・エアロビ
- ・地域の友人多め

10%

高齢・孤立予備軍

- ・子離れ・親離れ・職離れ気味
- ・TVは1日7時間

出所:三菱総合研究所

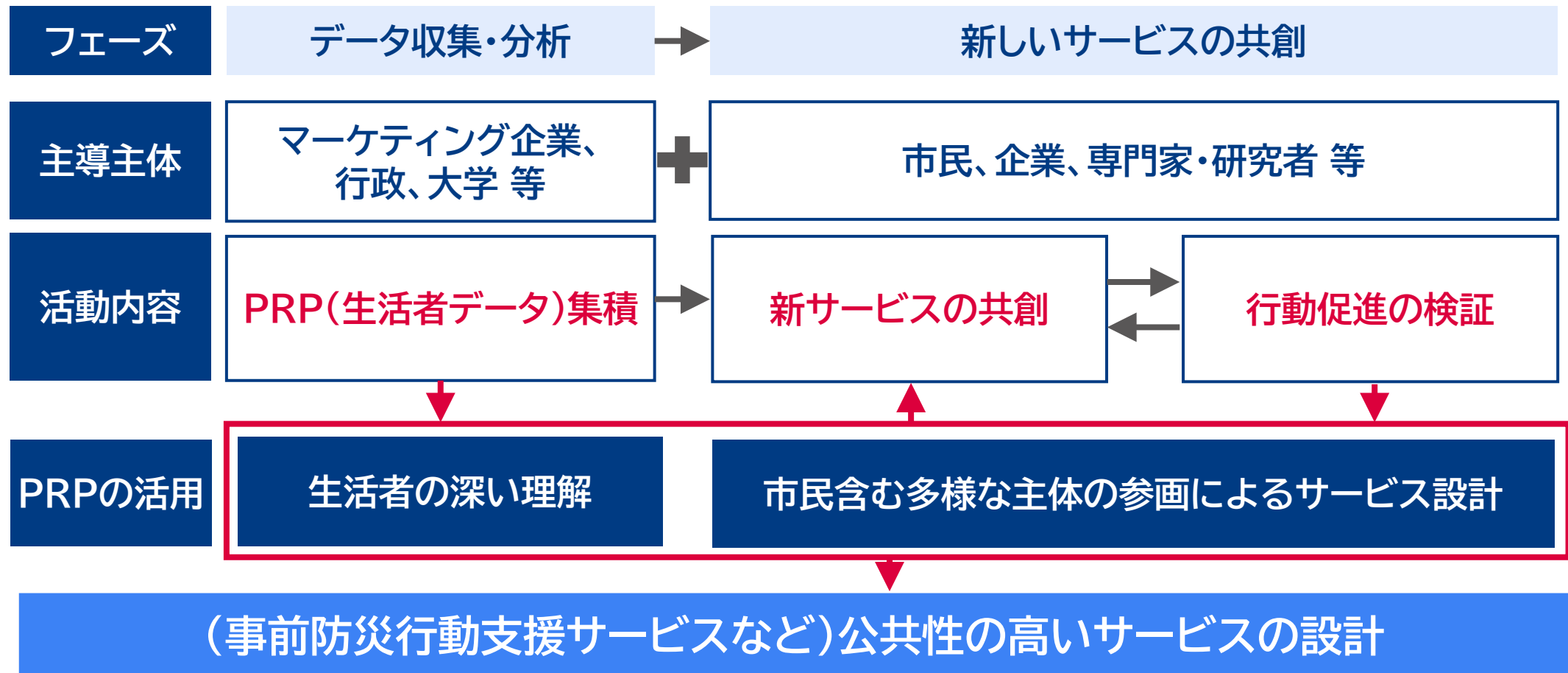
PRPの社会実装と活用のポイント

「パーソナル・レジリエンス・プロファイル」とは

- ①行政・企業・市民・専門家が協働して公共性の高いサービス(ex. 防災行動支援サービス)を設計する場・制度
- ②自発的な行動による利他的貢献を認め、称える仕組み

①行政・企業・市民・専門家が協働する場

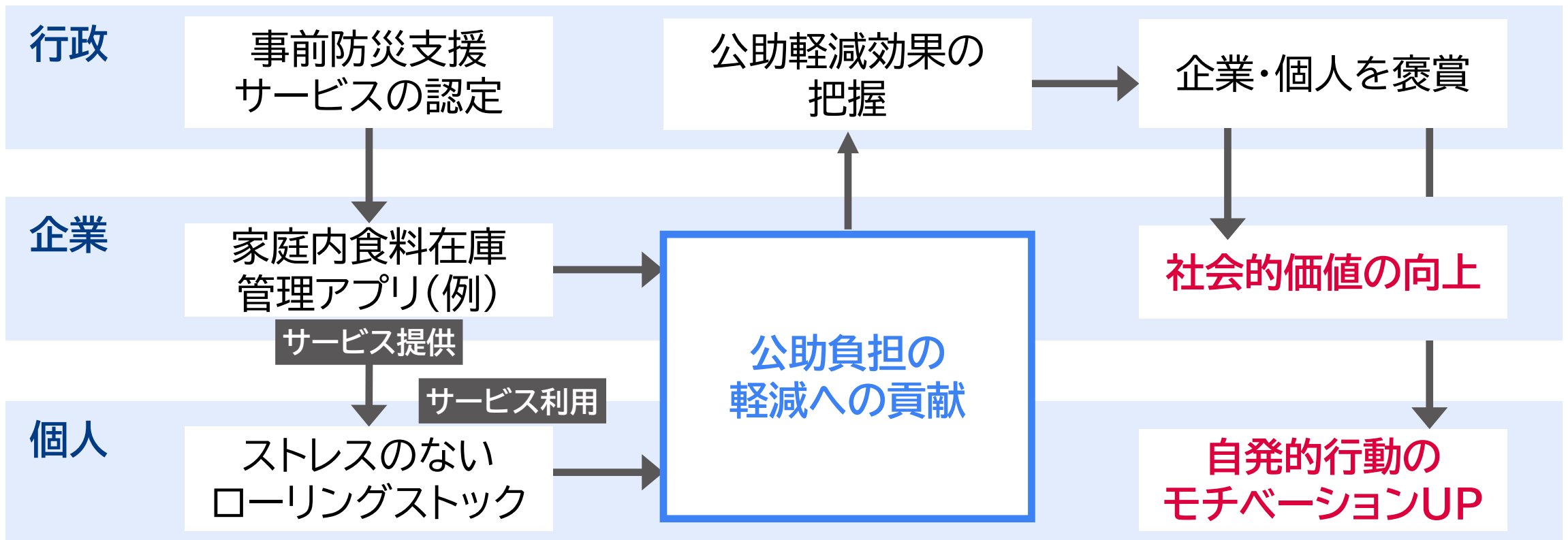
- PRPを産官学市民によるサービス共創のためのツールに



出所:三菱総合研究所

②行動による利他的貢献の可視化

- 個人が行動を起こすモチベーションを高め、かつそれを後押しする企業の社会的価値を向上させる仕組みが必要



研究のまとめ

- 個人の行動を起点に全体で助け合う「レジリエントな社会」が必要
- 事前防災活動に関心をもちつつ行動していない「ライト層」がカギ
- ライト層の「セグメント分析」を活用したサービス設計で新たな社会の実現を

今後の予定

- PRP(=生活者の日常データ)を起点とした個人・社会のレジリエンス向上サービス設計手法の研究
 - ✓ 事業性と公共性の両立 or 全く新しい解決方法
 - ✓ レジリエントな日常生活／向社会行動の促進・継続・定着方法
- 具体化と実現可能性の検証のため、机上から実践型研究へシフト。

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所